

何故止めない？川内原発？福島を忘れたか！

本音の コラム



「い」との託宣を下した。住民の安全を本気で心配するなら、地震が収まるまで、止めて様子を見よう、とする愚直さが必要でしょう。

平然と、というか、常識に逆らうてというか、九州のひとつが「前震」「本震」「余震」の襲来に生活を破壊され、恐怖に夜も眠れずにいるのに、九州電力は「川内原発異常なし」と豪語して運転しつづけている。まるで日本を破壊させた旧軍部の無責任。蛮勇だ。

鎌田 慧

「熊本連続大地震」は、地震予知の専門家が「経験則から外れている」といつほどの「想定外」である。地下での活動が強まって地震が誘発されている、との説もある。

福島事故を忘れない

日本には未知の地震帯がまだ多くあるといわれている。神ならぬ身の菅義偉官房長官、「現状において停止する必要がない」との託宣を下した。住民の安全を本気で心配するなら、地震が収まるまで、止めて様子を見よう、とする愚直さが必要でしょう。

2016.4.19

本音の コラム



そうしないのは、よほど停止してはいけない理由があるのだろう。

斎藤 美奈子

川内原発、なぜ止めないの？ 熊本地震の震源域は拡大しており、気象庁は「先は見通せない」と、日本地震学会の会長は「断層帯の南西にも注意が必要」と述べているのだ。「念のため」でも「点検のため」でも、原発に賛成でも反対でも、ふつう止めない？

止めない理由

十四日の前震は熊本県益城町で最大加速度一五八〇ガを記録しており、川内原発の基準地震動六二〇ガを上回っている。政府、原子力規制委員会、九州電力、地元の薩摩川内市か鹿児島県、どこかが「万一に備えて川内原発は一旦運転を停止したい」と要請すれば事態は動くのではないか。

(文芸評論家)

2016.4.20